



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月26日

上場会社名 株式会社Ｊストリーム 上場取引所 東  
コード番号 4308 URL http://www.stream.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石松 俊雄  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 竹見 嘉洋 TEL 03-5765-7744  
四半期報告書提出予定日 2023年11月1日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,581	△5.5	294	△61.9	309	△59.5	152	△66.9
2023年3月期第2四半期	5,903	△6.1	773	△27.8	763	△28.9	459	△32.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 182百万円 (△62.9%) 2023年3月期第2四半期 492百万円 (△32.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	6.11	—
2023年3月期第2四半期	18.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	12,464	10,692	82.3	412.75
2023年3月期	12,963	10,931	81.1	422.63

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,263百万円 2023年3月期 10,509百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,480	△8.2	516	△69.0	536	△67.6	219	△74.9	8.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2023年10月26日）公表いたしました「2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	28,057,400株	2023年3月期	28,057,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,191,062株	2023年3月期	3,191,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	24,866,338株	2023年3月期2Q	24,866,338株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な政情の悪化、資源価格の高騰や、アメリカの金融引き締め等に伴う急速な円安の進行等から物価高が顕在化しており、景況の回復が続いているものの、個人消費動向や企業収益における不確実性が高い状況となっております。新型コロナウイルス感染症については、夏季に感染者数の増加はあったものの社会活動への影響は限定的でした。インターネット業界においては、生成AIやそのビジネス利用が注目され、各種コンテンツ生成に加え、そのデジタルトランスフォーメーション（DX）における活用から関連市場が広がっております。

こうした環境下、当社グループは動画ソリューション事業において、各種イベントのインターネットライブ配信や、社内情報共有・教育等のオンデマンド動画配信ニーズに対応し、主力サービスである「ライブ中継サービス」や「J-Stream Equipmedia」、コンテンツ配信サービスに関連するシステム開発、運用受託等を中心に提供を進めました。

販売面においては、戦略市場を医薬業界のEVC（Enterprise Video Communication）領域、金融およびその他の業種のEVC領域、放送業界を中心としたOTT領域、と3区分して営業活動を展開しました。

EVC領域（医薬）においては、主力となるWeb講演会用途のライブ配信や、イベント実施に伴う集客や諸手配といった領域において、製薬企業のDX展開推進に伴う受注は継続しております。しかしながら、薬価改定への対応や円安に伴う日本市場の相対的な地位低下等の要因から、一部企業を除いて、注力の度合いがコロナ期に比べれば低下する傾向が継続しております。また、より効果測定を重視する傾向が全般に強まっております。当社の主要顧客である企業においても、予算の制限からライブイベントの絞り込みの動きがある一方、よりマーケティング効果を重視した広告、集客に関する需要の比率が高まる結果となりました。ライブ配信、関連するWEB制作、映像制作等のサービス全般を含めた、この領域全体での売上は、製薬企業を主顧客とする連結子会社を含め、前年には及ばない結果となりました。

EVC領域（医薬以外）においては、5月に実施された新型コロナウイルス感染症に関する制限緩和が、企業活動の各側面におけるリアルへの回帰を後押ししました。6月に需要が集中するバーチャル株主総会関連の売上については、新型コロナウイルス感染症に関する制限緩和に伴う実開催重視の動きと、各案件内における当社の実施業務範囲の縮小に伴い、想定を下回る結果となりました。各種情報の配信インフラとしての機能を持つ主力サービスである「J-Stream Equipmedia」や「J-Stream CDNext」等の事業インフラや、社内教育等向けの定常的な利用は底堅く推移しましたが、販売促進のためのウェブセミナーや、企業や団体内でのライブイベント等のスポット的利用に向けた需要に減退が見られ、これに伴い、ライブイベント実施やネットワーク流量に伴う売上も低調なものとなりました。同様の要因から、WEB制作、映像制作等の需要も低水準となりました。

OTT領域においては、放送業界におけるシステム開発、サイト運用や関連するWEB制作業務、配信ネットワーク売上が中心となりました。コロナ環境下での巣ごもり消費で根付いたネット視聴習慣や、視聴端末、動画配信サービスの普及を背景に、同領域におけるサービス開発には高い需要があります。当社グループにおいても、放送局のネット配信サービスメニューの拡充に伴うシステム開発や、前年度において大口のコンテンツ配信システム開発納品があった専門チャンネル事業者に対する運用サービス提供が継続的な売上要因となっており、この領域全体の売上は順調に推移しました。

費用面においては、売上連動で外注費が減少しました。足元の営業見通しを鑑み、採用計画を抑制したほか、その他の経費についても大幅な見直しを実施し、経費の節減を図っておりますが、前年同期比では人員、労務費ともに増加傾向は継続しています。販売費及び一般管理費については、業務の効率化等の削減策実施に伴い、前年同期比1%程度の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高5,581百万円（前年同期比5.5%減）、連結営業利益294百万円（前年同期比61.9%減）、連結経常利益309百万円（前年同期比59.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益152百万円（前年同期比66.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 【資産、負債及び純資産の状況】

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は9,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,008百万円減少いたしました。これは主に配当金支払及び子会社株式取得に伴う現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は2,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ509百万円増加いたしました。これは主にのれんの増加及びソフトウェアの取得等によるものであります。

この結果、総資産は12,464百万円となり、前連結会計年度末に比べ499百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円減少いたしました。これは主に未払金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は145百万円となり前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は1,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ238百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払により397百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益152百万円を計上したことによるものであります。

## 【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ225百万円減少し、6,888百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、377百万円の収入(前年同期比45.4%減)となりました。これは主に法人税等の支払が273百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益309百万円の計上、減価償却費301百万円の計上などの資金の増加要因があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、885百万円の支出(前年同期比112.1%増)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が432百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が453百万円あったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、454百万円の支出(前年同期比0.9%増)となりました。これは主に配当金の支払が396百万円、リース債務の返済による支出が34百万円あったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向等を踏まえ、2023年4月27日公表の2024年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。当該業績予想の詳細につきましては、2023年10月26日公表の適時開示資料「2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

## （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,051,030	4,088,316
受取手形、売掛金及び契約資産	2,212,228	2,130,244
仕掛品	118,080	141,380
預け金	2,800,000	2,800,000
その他	380,859	393,338
貸倒引当金	△1,059	△1,012
流動資産合計	10,561,138	9,552,266
固定資産		
有形固定資産	543,149	471,074
無形固定資産		
のれん	143,459	565,341
ソフトウェア	1,223,325	1,380,216
その他	7,036	6,871
無形固定資産合計	1,373,821	1,952,429
投資その他の資産		
投資有価証券	4,311	4,708
繰延税金資産	178,653	189,095
その他	310,857	302,768
貸倒引当金	△7,939	△7,477
投資その他の資産合計	485,882	489,095
固定資産合計	2,402,853	2,912,599
資産合計	12,963,992	12,464,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,125	3,566
1年内返済予定の長期借入金	—	1,625
未払金	735,930	576,624
未払法人税等	291,083	154,237
賞与引当金	124,484	106,208
資産除去債務	—	34,370
その他	653,277	749,890
流動負債合計	1,818,902	1,626,523
固定負債		
長期借入金	—	6,375
退職給付に係る負債	19,886	14,383
資産除去債務	96,696	62,556
その他	97,239	62,570
固定負債合計	213,822	145,886
負債合計	2,032,725	1,772,409
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	3,899,515	3,899,515
利益剰余金	4,732,971	4,487,124
自己株式	△306,115	△306,115
株主資本合計	10,508,751	10,262,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	706
その他の包括利益累計額合計	430	706
非支配株主持分	422,084	428,844
純資産合計	10,931,266	10,692,455
負債純資産合計	12,963,992	12,464,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,903,543	5,581,618
売上原価	3,429,468	3,602,104
売上総利益	2,474,074	1,979,514
販売費及び一般管理費	1,700,819	1,684,798
営業利益	773,255	294,715
営業外収益		
受取利息	3,482	8,048
違約金収入	—	5,928
受取保険金	—	4,000
その他	3,883	1,544
営業外収益合計	7,365	19,521
営業外費用		
支払利息	1,891	1,110
支払保証料	621	1,411
為替差損	14,375	2,240
その他	668	125
営業外費用合計	17,557	4,887
経常利益	763,062	309,349
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	763,062	309,349
法人税、住民税及び事業税	271,357	137,695
法人税等調整額	△536	△10,563
法人税等合計	270,820	127,131
四半期純利益	492,242	182,217
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,516	30,203
親会社株主に帰属する四半期純利益	459,725	152,014

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	492,242	182,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	275
その他の包括利益合計	△86	275
四半期包括利益	492,155	182,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	459,639	152,289
非支配株主に係る四半期包括利益	32,516	30,203

## (３) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 2022年４月１日 至 2022年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 2023年４月１日 至 2023年９月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	763,062	309,349
減価償却費	279,415	301,066
のれん償却額	41,255	37,076
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,530	△18,276
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	612	△508
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,362	△5,502
有形及び無形固定資産除却損	0	—
受取利息及び受取配当金	△3,532	△8,100
支払利息	1,891	1,110
売上債権の増減額 (△は増加)	250,499	97,280
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△315,171	△19,620
その他の資産の増減額 (△は増加)	△65,352	△7,287
仕入債務の増減額 (△は減少)	116,321	△10,558
未払金の増減額 (△は減少)	△21,807	△90,277
その他の負債の増減額 (△は減少)	△13,087	58,281
その他	△1,268	△4
小計	1,019,946	644,025
利息及び配当金の受取額	5,514	8,028
利息の支払額	△1,891	△983
法人税等の支払額	△332,483	△273,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	691,085	377,568
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△79,865	△60,469
無形固定資産の取得による支出	△233,616	△372,240
敷金及び保証金の差入による支出	—	△466
敷金及び保証金の回収による収入	210	516
投資有価証券の取得による支出	△104,420	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△453,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417,691	△885,813
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の返済による支出	△1,686	—
リース債務の返済による支出	△60,370	△34,354
配当金の支払額	△371,248	△396,671
非支配株主への配当金の支払額	△17,190	△23,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△450,494	△454,469
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△177,100	△962,713
現金及び現金同等物の期首残高	7,290,446	7,851,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,113,345	6,888,316



（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

**【セグメント情報】**

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。